

114
A 989



過日本縣下野蒜港御巡覽ノ際石巻ニ於テ繁幸
等幸ニ尊諭ヲ辱フス因ニ本縣地方ニ於テ將
来起工スヘキ事業ノ概畧別紙ニ記載シ恭シク
高覽ニ供フ尚ホ所見ノ尽サル所等御示
教アラントテ伏テ懇願ス頓首再拜

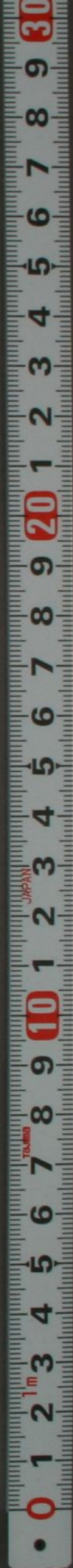
宮城縣會議員首藤陸三

同 齋藤信太郎

同 武者傳二郎

同 大立目才次郎

大正十一年四月贈



同 議長増田繁幸



物産ヲ蕃殖シ國家ノ富饒ヲ計畫セントセハ運
輸ノ利行旅ノ便ヲ開發スルニマリ然ルニ我縣ノ
如キ道路溝渠ハ概ネ昔時封建ノ制即チ軍備ニ
成リ其人民ハ徒ニ天利ヲ頼シテ人工ヲ勉メス苟且
偷安唯在来ノ衣食ニ飽キ繼承ノ家居ニ任レル進
取興利ノ事アルヲ識ラズ是ヲ以テ道路ハ凸凹ニシ
テ屈曲極マリナク纒ニ地勢ヲ變換スレハ大ニ其利害
ヲ殊ニシ偶マ水利アルノ場所ハ堤塘詭弱山間高
阜ノ地ハ水利運河ナキニテ動モスレハ田地ノ灌漑
ニ苦シニ天時ニ少變アルモ忽チ低地ハ水害ヲ被リ
高地ハ旱損ニ罹リ甚シキハ餓莩路ニ當ルニ至ルノ
景状ナリ故ニ他ノ州郡ニ交通運輸ノ便ヲ得サルハ

勿論一郡内ト蚕モ日ヲ累ネサレハ往復シ能ハサル
モノアリ又良牛馬ヲ産出スル、牧場アルモ其牛馬
ヲ牧畜スル、道ニ乏シ是ヲ以テ我地方将来、興
利享益ノ道ヲ計畫スルハ道路運河ヲ開鑿シ
運輸ノ利交通ノ便ヲ開クヨリ急タルハナシ況ンヤ
野蒜築港、落成近キアルヤ故ニ先ツ土木工事
ニ着手シ道路運河ヲ開鑿シ運輸ノ利交通ノ便ヲ
開カントス然レトモ限リアル費額ヲ以テ限リキ事
業ヲ起ス能ハス且其事業ニ大小緩急順序アリ
殊ニ我地方、如キハ在来ノ堤防脆弱一朝洪水ニ
遇フハ家屋財産ヲ流失シ良田ヲシテ荒蕪ノ地
ニ帰セシムル、場所甚ナシトセス加之道路ノ修繕
ニ急リ偶マ平坦ナルモ往々車馬ヲ通セサルノ場所ア

リ故ニ土木工事ニ着手セントスルニハ其起工ノ順
序ヲ立テサルヘカラス若シ起工ノ順序ヲ立テス後
ニ進取ヲ事トセハ基礎鞏固ナラサルヲ以テ事業
ノ失敗ナキヲ保シカタシ又退守ヲ旨トシ進取ニ勤
メサレハ事業擧ラサルノ弊ナキヲ免レス因テ別紙
ニ列記スルカ如ク縣下土木事業ヲ第四項ニ區別
シ其第一項ハ法律ヨリ成立タル地方税ノ負擔ト
シ其第二項ハ國費ヲ仰キ第三項ハ縣債ヲ起シ第
四項ハ有志ノ醵集即チ私立會社ノ方法ヲ以テ
資金ヲ募集シ漸次工ヲ起シ數年ヲ期シ以テ
成效ヲ奏セントス尤モ第一項中尚ホ自ラ緩急ア
リ則チ第二以下ハ大災害ニ罹ルカ如キ非常ノ變
災アルニ當リテハ中止スル丁アルモ第一ノ如キハ一

日モ急ルヘカラス然レトモ草一ヲ勤メテ草二以下
ヲ急ルルハ旧慣ヲ墨守シ今日ヲ保ツニ過キカルヲ以テ
草二以下モ亦タ飽マテ勤メサルヲ得ス而シテ草一項ハ
ニ一地方ノ便益ニ止マレハ草二項以下ノ工業全了スル
ニアラスニハ我縣ヲシテ東北地方中央ノ要地四通八
達ノ街衢ト云フニ至ラシムルヲ得ス是ヲ以テ能ク其
順序ヲ失ハス着々歩ヲ進メ國家ノ為メニ此公益
事業ヲ起サントス且方今間接ニ勤ムキノ事業ア
リ近年豊作米價大ニ騰貴セシヲ以テ民戸ニ餘財
アリ此時ニ當リ將來ノ為メ公益ヲ興シ資財流通
能ク散シ能ク集ルノ法ヲ講セサレハ今日ノ餘財ハ
驕奢瀨惰ヲ買フノ資金トナリ僥倖ノ福利ハ他
日自滅ヲ招ク禍害トナラン繁幸等深ク之ヲ憂

フ依テ民カノ及フ限リハ民心ヲ鼓舞シ富強ノ道
ヲ計リ又此工事ト共ニ遊駟法ヲ嚴ニシ旧來ノ物
産ヲ改良シ牛馬牧畜ノ法ヲ勸誘シ百折不撓
ノ精神ヲ以テ事ニ臨メハ數千町歩ノ原野池沼
開拓スヘク鑛山興ルヘク物産蕃殖スレ夫レ此言タル
方今立言者ノ常套ノ如シト衆モ我地方ニ於テハ敢テ
架空ノ論ニアラス又決シテ為シ能ハサルノ事業ニアラ
ス為サレハ所謂長者ノ為メニ枝ヲ折ルノ類ヲ官
モ亦タ此帝國ノ富庫タル我地方計畫ノ為メニ充
分ノ保護ヲラントラ祈望ス其詳細ノ如キハ別紙ニ
詳ナルヲ以テ茲ニ之ヲ縷陳セス

第一項

地方税ヲ以テ改修又ハ修繕スヘキ目的ノ道路橋梁
等ハ左ノ件カトス

第一

在来ノ堤防ヲ増築シ河川ヲ改修シ用悪
水路樋管ヲ改良シ道路橋梁ヲ修繕スル事

在来ノ道路四百拾七里橋梁九四千六百余ノ
修繕ヲ怠ルトキハ行旅ノ不便ハ勿論甚シキニ
至リテハ運輸ノ途壅塞シ地方ノ衰頽ヲ見ル
必然ナリ故ニ一日モ怠ラス修繕セサルヘカラス

第二

陸羽街道改修ノ事

延長九四拾里余ノ内地勢ヲ異ニシ利害ノ輕重
工事ノ緩急アルヲ以テ其利害ノ輕重工事ノ

緩急心ヲ斟酌シ之ヲ左ノ四部ニ區別シ漸次
工ヲ施サントス

第一

仙臺以南福島縣界迄九拾六里
此路線ハ國道一等ニシテ昨十三年度
以來起工レニ三ノ小坂ヲ除クノ外全ク
開鑿シテ工ヲ竣ヘ車馬ノ便ヲ得ル點
少ナリトセス尚ホ殘工事ニ着手シ全ク
成功セントス

第二

志田郡三本木駅ヨリ栗原郡金成
駅マテ九拾里余

此路線モ亦々國道一等ナリ而シテ十四年
度ヨリ起工シ十五年度中ニ成功ノ目的
ナリ

第三

九里余

仙臺以北志田郡三本木駅マテ九
里余
此線路モ上ニ同シ但シ實測未タ成功セ
サルヲ以テ起工ノ目的モ亦々立タストモ
十五年度ヨリ着手セントス

第四

栗原郡金成駅以北岩手縣界マ
テ九貳里余

同上

第三

野蒜及石巻街道改修ノ事

延長九拾三里宍倉中實測ノ上之レカ計畫ヲ
ナセシニ其工費金貳万六千四余ヲ要スルヲ以テ
野蒜ニ近接スル桃生郡上下堤外四ヶ所ノ嶮
坂開鑿金ニ係ル費額尙万貳千四百余四ハ國

庫ヨリ御下渡ヲ請求シ其他ハ地方税ヨリ支辨スルモノトシ國庫御下渡ハ現ニ請求中ニシテ地方税ノ支出ニ係ルモノハ已ニ落成セリ而シテ前四ヶ所ノ峻坂開鑿金ハ國庫御下渡ノ裁可次第着手セントス若シ國庫御下渡ノ裁可アリテ全ク成効セハ仙臺ヨリ野蒜石巻ニ達スル道路ハ平坦トナリ車馬ノ往來最モ便ラ得地方ノ利益實ニ大ナルニシ

第四

山形街道改修ノ事

仙臺ヨリ山形縣界作並村地内関山越マテ凡拾里余ノ内三里半余ノ山坂峻路ニ係ル工費ハ悉皆國庫ヨリ御下附相成宿歲七月ヲ以テ起工シ方今凡ソ七步通成功其他ハ地方税及ヒ協議費

等ヲ以テ支弁シ十四年度中ニ悉皆成功目的ナリ

第五

野蒜及石巻ヨリ鹿又飯野川柳津登米
淺水上沼等ノ村駄ヲ經テ若手縣下ニ達スル路
線開鑿金ノ事

此路線ハ北上川ニ沿フ所ニシテ之ヲ開鑿金セサルハ野蒜及ヒ石巻ヨリ若手縣下ニ達スル道路不便ナルヲ以テ本縣下及若手縣下ニ於テ便益ヲ得ル能ハサルニ付昨年工ヲ起シ今ヤ已ニ其七歩ヲ竣功シ平坦ノ道路トナリ車馬往來ノ自由ヲ得ルニ至レリ尚ホ殘工事ハ漸次着手整理セントス

第六

陸羽濱街道開鑿金ノ事

名取郡岩沼駅ヨリ福島縣界ニ至ル道路ヲ
開鑿セサルキハ本縣下伊具且理兩郡ニ便益
ヲ與ヘ仙臺ヨリ福島縣下及ヒ茨城縣下ニ達
スル便利ヲ得ス故ニ阿武隈川ニ橋梁ヲ架シ
道路凡拾五里ヲ開鑿セントス

第七

本吉郡柳津駅ヨリ氣仙沼ヲ經テ岩手縣
下ニ達スル道路開鑿ノ事

此路線ハ延長凡拾八里ニシテ大概峻坂峻路
ナリ故ニ石巻野蒜及ヒ仙臺ヨリ本吉郡ヲ經テ
岩手縣下氣仙郡其他諸郡ニ達スルノ通路開
ケス運輸ノ不便實ニ云フヘカラス現ニ本吉郡ノ
如キハ水陸ノ産ニ乏シカラスト雖モ道路峻惡運
輸ノ便開ケサルヲ以テ其產物モ亦々隨テ盛大

ナルヲ見ル能ハス是ヲ以テ峻坂峻路ヲ開鑿シ
北上川ニ橋梁ヲ架シ石巻野蒜及ヒ仙臺ヨリ岩
手縣下氣仙郡其他ノ諸郡ニ達スル車馬ノ往
來ヲ自由ナラシメ特リ本吉郡ノ便益ヲ計ルノ
ミナラス本縣下及ヒ岩手縣下ノ便益ヲ石セ開カ
ントス

以上ノ線路ヲ以テ他縣下ニ通スル幹線トス外ニ秋田縣下
越前ノ道路アリ此道路ハ成瀬川ノ改修ニ關係シ而シテ此ノ線路ニ
事大ニ涉ルヲ以テ詳細ニ記載ス
接續スル支路トシテセサルヲ以テ其支路モ亦々改
修セサレハ東西南北到ル處トシテ車馬ノ往來自由ナルヲ
得管內普ク運輸ノ便ヲ得ルト云フヘカラス故ニ支
路モ亦々漸次改修セントス而シテ其著シキモノヲ舉
クレバ宮城郡高城駅ヨリ黒川郡吉岡ニ野蒜街道

中間ヨリ遠田郡涌谷ニ野蒜ヨリ枕生郡小野廣
瀨ヲ經テ遠田郡涌谷ニ通スルノ道路并ニ栗原郡
花山越文字越名取郡二口越柴田郡笹谷峠刈田
郡山中七ヶ宿街道等ナリ

第ハ 迫及江右川ノ河身ヲ改修シ堤防ヲ増築
スル事

此西川ハ舟楫ノ便ナキニアラストモ元來堤防
等ノ修繕急リタルヲ以テ其便ヲ欠キ加之朝
出水スルニ當リテハ忽チ堤防ヲ破壊シ家屋財
産ヲ流失シ良田ヲシテ荒蕪ノ地タラシムル丁
年々歳々ナルニ至リ又遠田郡短臺谷地ニ
郷谷地其他卑濕ノ地ヲ開墾スルキハ數百
町歩ノ良田ヲ得ヘシトモ該西川ヨリ動モスレ

ハ逆流スルヲ以テ該西川ノ堤防ヲ増築シ河
身ヲ改修セシムルハ到底行ハシカタシ故ニ河身
ヲ改修シ堤防ヲ増築シ以テ水害ヲ防キ
舟楫ノ便ヲ得セシムルハ目下ノ急務ナリ最モ
河身ヲ改修シ堤防ヲ増築スルキハ短臺谷
地等ヲ開墾シ數百町歩ノ良田ヲ得ル實
ニ容易ナルヘシ

第二項

事業重大工費巨額ヲ要シ地方ノ負擔ニ堪ヒサ
ルヲ以テ國庫ヨリ御下附アラシムルハ成效シカタキ目
ノモノハ左ノ件ナトス

第一 北上川阿武隈川ヲ改修スル事

北上川ハ全國五大川ノ一ニシテ源ヲ岩手縣下

發シ管下石卷港ニ注キ管内ニ屬スルモノ九貳拾
里阿武隈川ハ北上川ニ次クモノニシテ源ヲ福島
縣下ニ發シ管内直理郡荒濱ニ注キ管内ニ屬
スルモノ九拾三里共ニ灌漑ノ益舟楫ノ利巨大
ナリト云モ近來土砂川床ヲ埋メ河心ヲ淺クシ
遂ニ水運ノ利ニ障礙ヲ來タシ水害モ亦々非
常ニシテ官民ノ損害尠ナカラス且野蒜ノ築
港ニハ最モ大關係ヲ有スルヲ以テ之ヲ改修セス
ンハ至大ノ公益ヲ計ルヘカラス故ニ西川ノ改修ハ
目下ノ急務ナリ而シテ北上川ハ如キハ現ニ測量中
ナリト云モ費額多キヲ要セサルヘカラサルヲ以テ
地方ノ負擔シ得ヘキニアラス因テ工費等悉
皆國庫ニ仰カスンハ到底成效スキノ目的ナ

キナリ

第ニ

成瀬川改修ノ事

詠川ハ源ヲ加美郡及ヒ黒川郡ニ發シ諸郡ヲ
貫通シ野蒜港ニ至リテ海ニ入ル其長九貳拾
五里余ニシテ北上阿武隈川ニ次クノ大河ナリ
而シテ舟楫ノ便ナキニアラスト云モ河身淺キカ
故ニ舟ノ自由ナルヲ得ス且沿村ノ人民年々水
害ヲ蒙ル甚シ殊ニ野蒜ノ開港迄キニアルヲ
以テ加美郡中新田村マテ舟楫ヲ通シ鬼首
越ヲ開鑿シ野蒜ヨリ秋田縣下ニ通スルノ
路線ヲ開カスンハ秋田縣下ノ公益ヲ合セ計
リカタシ故ニ河身ヲ開鑿シ傍ヲ水害ヲ除キ
加美郡中新田村ニ達スル舟楫ノ便ヲ開カ

ントス然レトモ其事業タルヤ重大ニシテ費額多キヲ要シ地方税ノ能ク堪ユル所ニテラス故ニ前項ト同シク國庫御下度ヲ仰カスンハ其目的ヲ達スル能ハス

葦三

白石川ヲ改修スル事

該川ハ源ニ羽前ノ界刈田郡湯原楢下嶺ノ麓ニ發シ柴田郡ニ至リ阿武隈川ニ會シ且理郡荒濱ニ至リテ海ニ注ク水源ヨリ阿武隈川ニ會スルマテノ長凡拾八里余ニシテ成瀬川ニ次ク大川ナリ故ニ柴田郡船迫金ヶ瀬ノ西堰ヲ改良シ河身ヲ修繕セバ白石橋畔ニ舟楫ヲ通スルノ便ヲ得柴田刈田西郡ニ運輸ノ利アルノミナラス刈田郡七日原鬼石原八宮川内其

他數千町歩ノ荒原ヲ開墾金シ及ヒ牧場ヲ開クノ益アリ然レトモ舟迫金ヶ瀬ノ西堰ヲ改良シ河身ヲ修繕スルニハ費額多キヲ要スルヲ以テ到底國庫ニ仰カスンハ其成效ヲ見ル能ハサルヘシ

葦四

鬼首越開墾ノ事

本縣下ヨリ秋田縣下ニ達セントスルニハ峻坂峻路ヲ經サルハカラサルノミナラス獨歩ニアラスンハ達シカタク積雪ノ候ニ劣リテハ通路全ク塞リ獨歩ト云モ達スルノ能ハス其不便實ニ限リナシ且加美郡ニハ曠濶ナル原野乃チ王城寺原上野原ノ如キモノ數ヶ所アルノミナラス牧場温泉鑛山其他巨木繁茂スル數千町

歩ノ官林乃チ駒ヶ嶽ノ如キモノアリト云モ行
 旅ノ便運輸ノ利ナキヲ以テ原野開ケス牧場
 盛ナラサル等枚舉ニ違マラス又前項ニ縷陳
 スルカ如ク野苜蓿ノ開港アルニ際シテハ秋田縣下
 ニ通スルノ路線ヲ開カサルヘカラス故ニ黒川郡吉
 岡加美郡中新田玉造郡鍛冶屋沢鳴子鬼
 首ヲ經テ秋田縣下湯ノ臺ニ達スル新道ヲ
 開鑿シ仙臺及ヒ野苜蓿ヨリ秋田縣下ニ通
 スル行旅運輸ノ便ヲ開カントス最モ此ノ
 道路ヲ開鑿スルキハ支線即チ玉造郡鳴子
 村ヨリ山形縣下最上へ通スル路線ニ接シ且
 成瀬川ノ運河其中間ニアルヲ以テ加美郡中
 ニアル原野牧場鑛山官林ノ遺利ヲ收拾ス

ル實ニ巨大ナルノミナラス秋田縣下ニ於テ大和
 鴻益ヲ興スラ得ヘシ然レトモ此ノ事業タル
 ヤ重大ニシテ地方税ノ負擔シ得ヘキニアラス
 因テ國庫御下渡ナクニハ到底成效シカタキ
 目的ナリ

縣債ヲ起シ運河堀浚等ヲナサントスル事業ハ左ノ件々
 トス

第一 北上川ヨリ阿武隈川ニ連絡スル運河堀浚
 ノ事 畧圖添

旧藩沼中堀鑿セシ宮城郡松島灣ヨリ阿武
 隈川ニ通スルノ運河アリト云モ宮城郡小浦生村
 ヨリ阿武隈川ニ至ルマテハ旧藩ノ堀鑿全キコ

得サリシヲ以テ數年前有志者相會シ旧藩ノ
計畫ヲ敷キ再ニ堰鑿ヲセシト雖モ資本僅少
ナルヲ以テ亦タ充分ノ工事ヲナシカタカリシ而シテ
近年其修繕ヲ怠リタルカ故ニ滿潮ノ時僅カ
ニ漁船小舟ノ往來スルノミナリ今ヤ野蒜開港
ノ與テアリシヲ堰浚シ阿武隈川ヲ分流シテ松
島灣ニ注キ又野蒜ヨリ東名ヘハ陸地ヲ相
距ル僅カニ扈里余ナリト雖モ舟楫ヲ通スヘキ
ノ運河ナキヲ以テ其便ヲ大クヤ甚シ因テ野蒜
ヨリ東名ニ達スルノ運河ヲ開鑿シ北上川ト阿
武隈川トニ連絡ヲ通シ福島縣下等ノ便利
ヲ合ヤ開カサルヘカラス況ニヤ宮城郡大代村ヨリ
仙臺至ニ達スル木道敷設ニ着手セントスル時

ナラヤ故ニ目下起サレハカラサレ最モ緊要ノ
工事ナリト雖モ限アル地方稅ヲ以テ限リナキ事
業ヲ起スヲ得ス因テ縣債ヲ起シ着手スルニ
アラスニハ成功シカタキ目的ナリ

第二

品井沼開墾ノ事

該沼タルヤ志田黒川宮城ノ三郡ニ跨リ周圍凡
五里余ニシテ平水ハ最深處僅ニ三尺四五寸ニ
過キスト雖モ岡陵圍繞ノ土地ナルヲ以テ一朝洪
水セハ吉田川之ニ注キ成瀬川逆流シ來リ右
村ノ細流モ亦タ之レニ會シ滔々トシテ該沼近
傍ニ洋溢シ水ニ丈二三尺トナリ水害拾有餘村
ニ及フ而シテ旧藩治中ニ於テ潛穴ヲ鑿金ヲ注
入スル所ノ水ヲ放洩シ開墾セントシタレトモ成

瀬川ノ逆流ヲ防カサルヲ以テ其目的ヲ果サリ
シ然ルニ十年以來縣廳ニ於テ實地ヲ測量シ
之シカ計畫ヲサセシニ成瀬川ノ逆流ヲ防キ在
来ノ潛穴ヲ増加シ注入スル所ノ水ヲ放洩シ貳
千町余ノ良田ヲ得ル目的已ニ立タルヲ以テ之ヲ
開墾セントス最モ之ヲ開墾シ得ハ拾有餘
村ノ水害ヲ除クノミナラス將來利益ヲ得ル
實ニ大ナルヘシ然レトモ之ヲ開墾スルノ費用ハ
五ヶ年ヲ期スルモ一ヶ年五万町余ノ巨額ヲ要ス
ルヲ以テ到底地方稅ノ及フ所ニアラス故ニ縣
債ヲ起シ以テ開墾スルニマラサレハ成效シ得
ヘキニアラスト信認ス

茅三 荒雄川ニ一大堰ヲ設ケ遠田柘生兩郡ノ

用水ニ供スル事

玉造郡ニ於テ荒雄川ニ大堰ヲ設ケ遠田柘
生ノ用水ニ供スルハ柘生郡和派廣瀨名鱈ノ三
大沼ヲ開墾シ數千町歩ノ良田ヲ得地方ニ利
益ヲ與フル尠少ナラス事業モ亦タ容易ナ
リト云モ工費支出ノ道ニ苦ム故ニ縣債ヲ起シ
以テ着手スルヨリ道ニキナリ

茅四

岩手縣下磐井川ノ水ヲ延キ登米郡石
森村通リニ灌漑ノ用水路掘鑿セシ事
事他縣ニ關シ照會上或ハ困難ナルレト云モ
若シ効ヲ奏スルヲ得ハ中田沼其他ノ荒蕪
地ヲ開墾シ用水ヲ疏通シ大ニ便益ヲ興起
スレシ故ニ該事業ニモ亦タ漸次着手セントス

然レトモ費額ヲ要スル點ナカラス因テ前項ト
同シク縣債ヲ起スニアラスハ成效シカタク見
込ナリ

第四項

地方ノ有志ヲ募リ物産改良ヲ計リ且ツ起工セントスル
事業ハ左ノ件コトス

第一

従来ノ物産ヲ改良スル事

本縣地方ニ於テ産出スル著明ノ物産即チ米
穀生糸及ヒ海産物ノ如キハ近來粗製濫
造甚タシク為メニ聲價ヲ失フノ景状付私
立會社ヲ設立シ以テ之レカ改良ヲ計ラントス
其方法ノ如キハ追テ制定スル

第二

蕪栗沼ヨリ高清水駄ニ達スル運河堀鑿

ノ事

遠田郡蕪栗沼ヨリ栗原郡西高清水駄へ
運河ヲ堀鑿スルハ栗原郡中ハ勿論其他ノ
便益甚ナカラス且其事業タルヤ最モ容易
ナルヲ以テ有志者ヲ募リ起工セントス

第三

起テ玉萩村へ運河堀鑿ノ事

栗原郡築館近傍ノ便利ヲ計リ且數百
町歩余ノ畑岡沼ヲ開墾シ良田トナスハ專
ラ此ノ運河ヲ堀鑿スルニアルヲ以テ之レカ工ヲ
起サントス但シ其事業タルヤ一郡内ニ止ルヲ
以テ前項ト同シク有志者ヲ募リ起工セントス
右ノ外宮城郡松島灣内ニ關係スル工事甚ナシトセサント

天野サ符築港等ニ依リ自然計畫可相成部分ト信
認シ敢テ教員セス